



須賀川二中  
学校だより  
No. 1

# 岩瀬ヶ丘

平成28年4月11日発行  
《発行者》  
須賀川市立第二中学校長

## 平成28年度がスタート!

4月6日(水)に着任式・始業式、午後からは入学式を実施し、平成28年度がスタートしました。保護者の皆様には、今年1年間、学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校の教育活動につきましては、学校だよりやホームページ等を通して、できるだけ保護者の皆様や地域の方々に広くお知らせするよう努めてまいります。昨年度と同様、学校だより「岩瀬ヶ丘」をよろしくお願いいたします。

【二中学生の活躍】  
○平石・横山杯卓球大会  
男子団体 2位  
女子団体 2位

## 新入生238名が入学しました!



6日(水)の午後1時30分から平成28年度の入学式を実施し、希望と意欲に満ちた新入生238名が須賀川市立第二中学校に入学となりました。

緊張の中、担任からの新入生呼名では一人一人が大きな声で返事をして起立し、中学校生活への意欲を感じることができました。

教育委員会の水野良一様からお祝いの言葉をいただき、来賓を代表して市議会議員の本田勝善様と本校PTA会長の吉田伸司様から祝辞をいただきました。心温まるお言葉で新入生の入学をお祝いいた



きました。たくさんの来賓の皆様にご臨席を賜り、心より感謝いたします。

また、歓迎のことばを生徒会会長の大柿奈々海さんが温かく迎える歓迎のことばを行い、新入生誓いのことばでは、238名を代表して橋本侑磨くんが中学校生活への期待と決意を立派に述べました。堂々としていてすばらしい内容の発表でした。

新入生一人一人が、中学校の生活リズムに早く慣れ、充実した中学校生活を送ることを期待しています。



### 対面式を実施!

7日(木)の3,4校時に、生徒会主催の対面式を行いました。はじめに対面しての呼びかけがあり、生徒会の執行部から各学級に鉢植えの贈呈がありました。その後、生徒会活動や専門部の説明、部活動紹介が上級生から行われ、続いて合唱部の校歌紹介と応援団からの歓迎エールが行われました。

新入生は、上級生の発表に興味を持って真剣に入り、中学校のさまざまな活動について理解を深める時間となりました。自分に合った専門部や部活動を選んで、今年1年間充実した活動をしてほしいと思います。



### 交通安全教室を実施!

8日(金)の4校時に、体育館において交通安全教室を実施しました。自転車運転時の注意を喚起するビデオを見た後、交通安全の担当から自転車使用のルール等について説明しました。登下校や部活動で自転車を使用する際は、交通規則をしっかりと守り、安全運転に努めてほしいと思います。また交通量の多い学区ですが、全校生徒で交通事故ゼロを目指していきたいと思います。



### ◇◇◇修学旅行に行ってきます!◇◇◇

12日(火)から14日(木)の3日間、3年生が修学旅行(山中湖・東京方面)に行ってきます。事故のない楽しい旅行になることを祈っています。

○4月12日(火)

山梨県山中湖(ネイチャーツアー・体験学習)

○4月13日(水)

東京都内班別研修・四季劇場

○4月14日(木)

東京ディズニーリゾート

### ☆☆☆15名の教職員が転入!☆☆☆

この度の人事異動により、新たに15名の教職員が転入となりました。早く慣れて、須賀川二中のために頑張りますので、よろしくお願いいたします。

- 教 頭 大河原正道 (阿武隈小より)
- 教 諭 清水 数智 (社会・稲田中より)
- 教 諭 有賀 文雄 (英語・鏡石中より)
- 教 諭 遠藤 千恵 (国語・西袋中より)
- 教 諭 井上結実子 (家庭・仁井田中より)
- 教 諭 橋本 和雄 (保体・湖南中より)
- 教 諭 塩田 栄子 (国語・長沼中より)
- 教 諭 北村 暢浩 (理科・東中より)
- 教 諭 鈴木 博之 (数学・小野坂平田校より)
- 教 諭 新井 雄輔 (理科・新採用)
- 教 諭 吉田 忠夫 (初任研指導)
- 講 師 橋本 祐子 (英語・須三中より)
- 養護教諭 古川 朋美 (鏡石中より)
- 主 事 二瓶 光里 (新採用)
- 調理員 大河原美喜子 (柏城小より)



### こころの窓

この4月は、新たな出会いがたくさんある季節となります。この出会いをどう生かしていくかは、人それぞれの心がけや受け止め方に関わってきます。「縁があつて」と考えれば、よりプラスの方向に向かっていけると思います。

今年度も、日常の心がけとして参考となることを掲載していきます。以下、機関誌「PHP」からの一篇を紹介いたします。

#### 縁 あ っ て

お互いに、縁あってこの世に生まれてきた。そして、縁あっていろいろな人とつながりを持っている。

縁あって・・・何だか古めかしい言葉のようだけれど、そこにはまた一つの深い味わいが潜んでいるように思える。

人と人のつながりというものは、とかく人間の個人的な意志でできたと思いやすいもので、だからまたこのつながりは、自分一の考えで、いつでも断てるかのように無造作に考えやすい。

だが本当はそうでない。人と人とのつながりには、実は人間のいわゆる個人的な意志や希望を越えた、一つの深い縁の力が働いているのである。

そうとすれば、お互いにこの世における人と人とのつながりを、もう少し大事にしてみたい。もう少しありがたく考えたい。不平や不満で心を暗くする前に、縁のあったことを謙虚に喜び合い、その喜びの心で、誠意と熱意を持って、お互いのつながりをさらに強めてゆきたい。

そこから、暗黒をも光明に変えるぐらいの、力強い働きが生まれてくるであろう。